
生きるって、ナニ？

快丈風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きるって、ナニ？

【Nコード】

N1117A

【作者名】

快丈風

【あらすじ】

同窓会で、友達から、お姉さんが白血病で亡くなった…と打ち明けられた私。生きるとは何か…がテーマです。

(前書き)

生きる意味を考えている人、人生に疑問を持つてる人へ、特に読んでもらいたいです。

ちなみに、この話は実話です。

ねえ、ウチらって、なんのために生まれてきて、なんのために死んでいくの？

私の疑問。

友達のお姉さんが亡くなった。

27歳だったそうさ。

白血病だった。

でも、彼女には幼い子どもが2人いた。

同窓会でみんなが集まった時に、私はその友達に聞いてみた。

「あ、お姉さんの様子、どう？」

以前、その友達のお姉さんが入院していると聞いた事があったので、軽い気持ちで聞いてみた。

すると、彼女は少しビツクリしたような顔をして、言った。

「あ、病名、言ってなかったっけ？」

病名？そんなに重傷だったのか？

「えっ？病名？知らないけど？」

「白血病だった。」

だった？

「それって、治るんでしょ？確か骨髄バンクとかで……」

「うん。ドナー、決まりかけてた。でも…最終的にダメだった。」
過去形？

「…じゃあ、お姉さん、
まだ入院中？大変だね…」

沈黙。そして、少し震える声で彼女は言った。

「今は、もう入院してない。1週間前に…ね。」

その先は、聞かなくても分かった。

何も言えなかった。

何て言えば良いか分からなかった。

「まだ、若くてさ、子どももいたんだ。綺麗な人だった。絵も上手な人だった。」

「そうなんだ…」

気のきいた言葉も思い付かない。

彼女は話を続ける。

「まだ、全然信じらんない。

…転院させれば良かったのかも。」

それつきり…会話が途絶えた。2人で、なんとなく沈む夕日を見てた。

そういえば、同窓会の最初の頃、彼女は、

「なんか、人生、無駄っていうか…時間を有効に使わない人って、許せない。」

…と言っていた。それはお姉さんの事があるからだろうか。

「重病だったり不治の病の人がテーマのドラマとか小説とかは嫌い。」

現実はいんなに綺麗じゃない。」

彼女はこうも言っていた。

毎日のようにお姉さんの看護を手伝ってきた彼女からすれば、当然の言葉かもしれない。

家に帰った私には、冒頭の疑問ばかり考えていた。

身近な、それも、実のお姉さんが…一体どんな気持ちだろう。

彼女は学生なので、勉強しながらバイトをして、少しでも残された幼い姪たちの生活費の足しにする…と言っていた。

まさか、自分の周りに。そんな人がいるとは思わなかった。てつきり、ドラマだけの話だと思ってた。

私は、自分の人生を…ちゃんと…有効に…生きているのか？

ちゃんと生きている…という判断は…何？誰がするの？

幸せな人生って？有効に人生を過ごすって？

あなたは、どう考えますか？

あなたは、人生を有効に送っていますか？

でも、私は…一生かかって考えたい。そう思った。

(後書き)

重いテーマですが、いかがでしたでしょうか？

この話を読んで、なにか心に残るものがあれば嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1117a/>

生きるって、ナニ？

2010年12月2日08時11分発行